

英訳聖書五版にみる迂言的doの歴史的研究Ⅱ

～新約聖書マタイによる福音書をコーパスとして～

古 庄 信

Abstract

Following the former research work,⁽¹⁾ the aim of this article is to observe the distribution of periphrastic *do* in the five versions of *The English Hexapla* : from the *Tyndale* version (*TY*) to *The Authorised Version* (*AV*), and to clarify how the ratio of transitive(*t*) to intransitive verb(*i*) changed with the use of *do* in these versions.

According to Ellegård, “(As for declarative sentences) inversion was very much more frequent with intransitive than with transitive verbs ⁽²⁾... The *do*-instances are a large and increasing proportion of the transitive group, but a fairly small proportion of the intransitive one.⁽³⁾ (In negative declarative sentences) it appears that the transitive verbs have a small, but clear and above all consistent advantage with regard to the use of *do*.⁽⁴⁾ (For the part of questions) in the first place, *do* should be less frequent in questions with the object placed at the head (object-questions, o : *what said he?*), in the second place, it should be less frequent in adverb-questions, a (*when came he?*) and verb-questions, v (*went he?*), when the verb was intransitive.⁽⁵⁾”

Now, from a detailed observation here, we can safely say that his hypotheses are true not only for *TY*, but also for *AV* and the other Bibles : the proportion of transitive verbs and intransitive ones is similar to the proportion in his data. However, only in the affirmative declarative sentences with *do*, the proportion of *t* and *i* is reversed, The reason has not yet been discovered and so will be pursued in further research.

序

この拙論における主な目的は、前回に続いて Shakespeare (以下 *Sha* と省略) と並び初期近代英語散文資料の重要なコーパスとされている⁽⁶⁾『欽定英訳聖書』 (the Authorised Version, 1611年出版、以下 *AV* と省略) における迂言的 *do* の分布を、その手本原稿となったといわれる⁽⁷⁾ Tyndale 訳聖書 (以下 *TY* と省略) とそれ以降の Cranmer 版 (以下 *CR* と省略)、Geneva 版 (以下 *GE* と省略)、Rheims 版 (以下 *RH* と省略) の4版と比較することで、初期近代の英訳聖書における迂言的 *do* の分布がどのような状況にあったかをより明らかにすることである。

今回は特に *do* タイプ/*s* タイプの各文における自動詞/他動詞の別を分類することにより *do* の使用にどのような差が見られるかに注目しつつ観察を試みた。Ellegård によると、「肯定文、否定文、疑問文のいずれにおいても、自動詞より他動詞が用いられる場合の方が *do* の発生が高くなる」⁽⁸⁾ という結果が出ている。今回の調査の結果、果たして聖書5版においては、肯定文の場合を除き Ellegård とほぼ同様の状況が観察された。

以下はこれらの5版の、*do* タイプと *s* タイプの文における自動詞(*i*)/他動詞(*t*)の分布状況の観察結果と所見である。

テキストは前回同様、*AV* については *The Holy Bible: a Reprint of the Edition of 1611*, Oxford/研究社 (1985)、その他の四版については *The English Hexapla*, AMS Press, (1975) を使用した。

1. 疑問文における場合

1. 1. 肯定疑問文における自動詞/他動詞の割合

Table 1. 1. 1.

S-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	4	4	4	6	5
<i>i</i>	0	0	0	0	0

Table 1. 1. 2.

Do-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	2	2	1	3	1
<i>i</i>	0	1	0	0	1

Table 1. 1. 1. に見られるように *S* タイプでは、他動詞の例のみが、また Table 1. 1. 2. に見られるように *do* タイプでも、*CR*、*AV* 以外の版では他動詞の例しか見られない。また今回の再調査の結果、前回の調査においてデータの分析に誤りがあった

ことが判明した⁽⁹⁾。そのため今回の修正したデータをあらためて Ellegård⁽¹⁰⁾ と比較するならば、下の Table 1. 1. 3. のようになる。すなわち TY, CR については Ellegård の数値にかなり近いが、GE 以降の3版ではかなり低く、do 使用に関して保守的であることが再確認された。また各版の自動詞／他動詞の分布状況について次の Figure 1. でみるならば、その推移はより明らかである。

Table 1. 1. 3

	TY	CR	GE	RH	AV
S-type	4	4	4	6	5
Do-type	2	3	1	3	2
Ratio.do/s	33.3%	42.9%	20.0%	33.3%	28.6%
Ellegård	30.3%	44.9%	56.3%	60.3%	69.2%

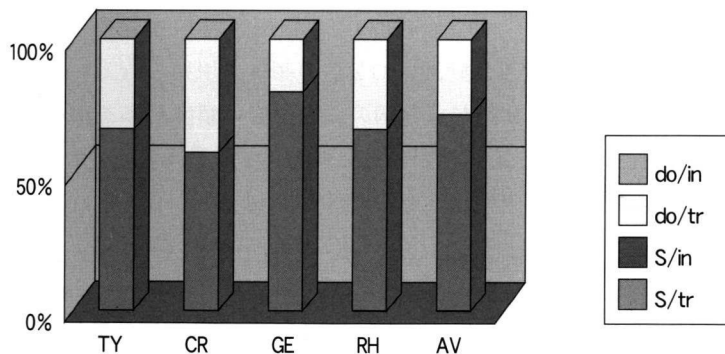
(表中の S/do-type 欄の数値は用例数、下欄は do の割合を示す数値)

他動詞／自動詞の do タイプにおける各例は次の (1), (2) のとおり。その他の do/s タイプの用例数・箇所は巻末の Frequency Survey : (以下 FS と略) に示す。

(1) Do men gaddre grapes of thornes? (AV 7.16)

(2) Or doe we looke for another... ? (AV 11.3)

Figure 1.



1. 2. Wh肯定疑問文における自動詞／他動詞の割合

Table 1. 2. 1.

S-type		TY	CR	GE	RH	AV
a	t	9	10	9	5	10
	i	8	8	8	5	6
o	t	10	11	10	5	6
	i	3	3	3	3	3
T	t	19 (63.3)	21 (65.6)	19 (63.3)	10 (55.6)	19 (67.9)
	i	11 (36.7)	11 (34.4)	11 (36.7)	11 (44.4)	9 (32.1)

Table. 1. 2. 2.

Do-type		TY	CR	GE	RH	AV
a	t	4	4	4	9	4
	i	2	2	2	5	2
o	t	3	3	3	3	3
	i	0	0	0	0	0
T	t	7(77.8)	7(77.8)	7(77.8)	12(70.6)	7(77.8)
	i	2(22.2)	2(22.2)	2(22.2)	5(29.4)	2(22.2)

Table 1. 1. 3.

	TY	CR	GE	RH	AV
S-type	30	32	30	18	28
Do-type	9	9	9	17	9
Ratio, do/s	23.1%	21.9%	23.1%	48.6%	24.3%
Ellegård	19.4%	31.1%	36.8%	40.2%	34.0%

疑問詞を伴う肯定疑問文 (Wh-affirmative questions) における自動詞／他動詞の分布状況は上の Table 1. 2. 1. ～1. 2. 2. に見られるとおりである。

疑問詞の種類については今回は Ellegård にしたがって⁽¹¹⁾、a-question (why 等の adverbial question) と o-question (what: objective question) に分類したところ、a-question に関しては、1) sタイプでは自動詞と他動詞は AV を除く 4 版ではほとんど同じ割合で、AV のみ他動詞が自動詞の約 2 倍の頻度で用いられている。また o-question に関しては、5 版とも他動詞が自動詞の約 2～3 倍の頻度で多く用いられている。そして a-question と o-question の合計値でも他動詞が自動詞の約 2 倍の頻度ということがわかる。2) このような他動詞と自動詞の割合は do タイプでもほぼ同様であった。特に o-question における自動詞の例は 5 版において皆無であった。今回修正したデータによる s タイプと do タイプの割合については、前回の数値⁽¹²⁾ とほとんど差がないことは Table 1. 2. 3. でわかる。以下は a/o 両疑問文における自動詞／他動詞の使用例である。(do/s タイプの用例数・箇所は巻末の FS に示す。)

- (3) Why do thy disciples transgress the tradition of the Elders? (AV 15.2)
- (4) Why doe we and the Pharisees fast oft, ...? (AV 9.14)
- (5) ... by whom doe your children cast they out? (AV 12.27)

Figure 2.

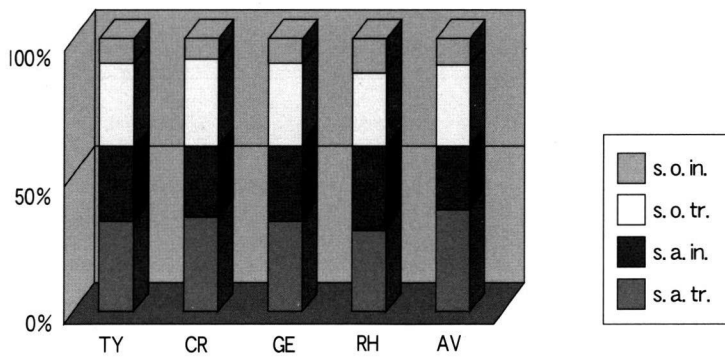
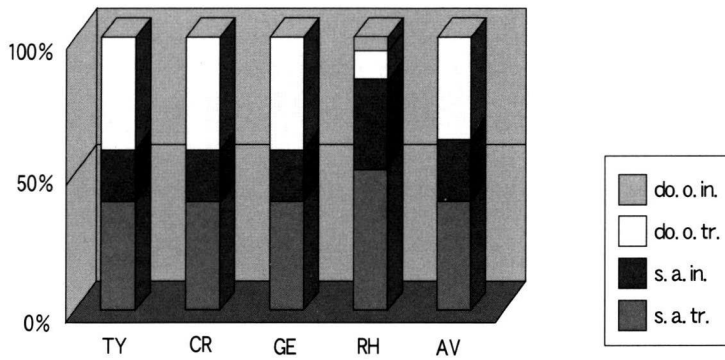


Figure 3.



2. 否定文における場合

2. 1. 否定疑問文 (v-question) における自動詞／他動詞の割合

Table 2. 1. 1.

S-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	2	1	5	0	1
<i>i</i>	3	3	3	2	4

Table 2. 1. 2.

Do-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	2	3	3	5	4
<i>i</i>	2	1	1	0	1

Table 2. 1. 3.

	TY	CR	GE	RH	AV
S-type*	5	4	8	2	5
Do-type*	4	4	4	5	5
Ratio. do/s	44.4%	50.0%	50.0%	71.4%	50.0%
Ellegård*	60.7%	75.0%	85.4%	64.8%	93.7%

(*ここでは用例数が少ないので各版、Ellegård のデータともに a-question と v-question の合計値⁽¹³⁾を示す)

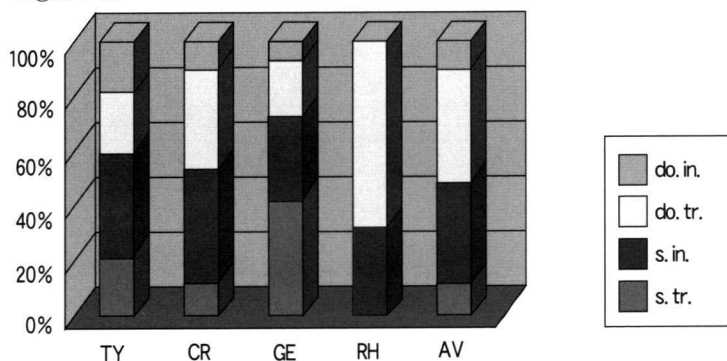
否定疑問文においては、全体の用例数が少ないので聖書全体では事情が異なるかもしれないが、マタイ伝に関する限りでは、上の Table 2. 1. 1. ～2. 1. 2. に見られるとおりである。すなわち、1) s タイプについては GE で他動詞が自動詞より上回っているのを除けば、他の版では自動詞の方が優勢となっている。2) 逆に do タイプの場合は、TY 以降の4版で他動詞の方が次第に優勢な状況になっていることがわかる。3) さらに Table 2. 1. 3. に見られるように、他動詞が優勢になるに従って do の分布が広がっているが、TY ～ AV では RH を除く4版で do の割合はほとんど変化していないことがわかる。

(do / s タイプの用例数・箇所は巻末の FS に示す。)

(11) Doeth not your master pay tribute? (AV 17.24)

(12) ... didst not thou agree with me for a penie? (AV 21.42)

Figure 4.



2. 2. 否定疑問文 (Wh-question) における自動詞／他動詞の割合

Table 2. 2. 1.

S-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	1	1	1	1	1
<i>i</i>	0	0	0	0	0

Table 2. 2. 2.

Do-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	1	1	1	1	1
<i>i</i>	1	1	1	1	1

Table 2. 2. 3. : Neg. v-q. + Neg. wh-q. in s - type

S-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	3	2	6	1	2
<i>i</i>	3	3	3	2	3

Table 2. 2. 4. : Neg. v-q. + Neg. wh-q. in do - type

Do-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	3	4	4	6	5
<i>i</i>	3	2	2	1	2

Table 2. 2. 1. ～2. 2. 2. に見られるように、疑問詞を伴う否定疑問文 (a-negative question) については、s タイプの例が各版でわずかに1例ずつ (Matt. 7. 3)、do タイプが2例ずつ (Matt. 21. 25, 25. 44) と極めて少ないので何ともいえない。Table 2. 2. 3. ～2. 2. 4. のように v-question との合計値で見ると (Table 2. 2. 3, 2. 2. 4)、1) s タイプでは GE で他動詞が優勢である以外は自動詞、他動詞ともほぼ同じ割合、2) do タイプでは CR 以降の4版において他動詞が優勢な状況である。AV における他動詞／自動詞別の do の使用例は次のとおり。

(do/s タイプの用例数・箇所は巻末の FS に示す。)

(13) ..., Why did yee not then beleeeue him? (AV 21.25)

(14) ..., Lord, when saw we..., and did not minister vnto thee? (AV 25.44)

2. 3. 否定平叙文における自動詞／他動詞の割合

Table 2. 3. 1.

S-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	33	34	32	37	39
<i>i</i>	22	20	21	19	20

Table 2. 3. 2.

Do-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	2	2	2	8	5
<i>i</i>	0	3	2	5	3

Table 2. 1. 3.

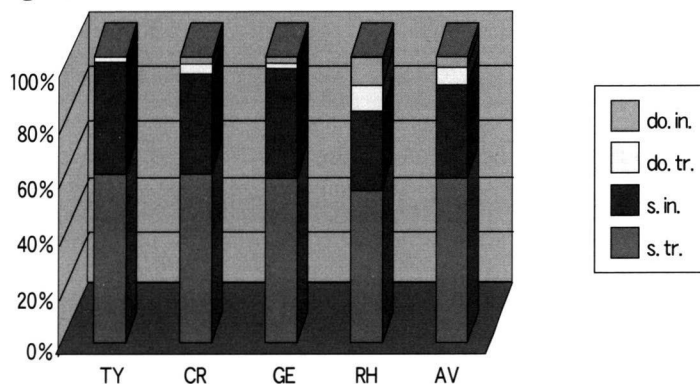
	TY	CR	GE	RH	AV
S-type	55	54	53	56	59
Do-type	2	5	4	13	8
Ratio, do/s	3.5%	8.5%	7.0%	18.8%	11.9%
Ellegård	13.7%	27.9%	38.0%	23.8%	36.7%

否定平叙文については、Table 2. 3. 1. ～2. 3. 2. において見られるように、1) sタイプの場合は TY から GE までの3版では約3対2の割合で他動詞の優勢、RH と AV では約2対1でやはり他動詞がより優勢になっていることがわかる。2) また doタイプの場合は、全体に例が少ないが、全版でやはり自動詞に比べ他動詞が優勢であり、特に RH、AV の2版においてはその傾向がより顕著に見られる。以下は doタイプにおける他動詞／自動詞の例である。 (do/s タイプの用例数・箇所は巻末の FS に示す。)

(15) Neither doe men put new wine into old bottles. (AV 9.17)

(16) ..., where neither moth nor rust doth corrupt, & where theeues doe not breake thorow, nor steale. (AV 6.20)

Figure 5.



2. 4. 否定命令文における自動詞／他動詞の割合

Table 2. 4. 1.

S-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	13	11	13	11	13
<i>i</i>	19	18	20	17	16

Table 2. 4. 2.

Do-type	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	0	0	0	3	1
<i>i</i>	0	0	0	0	0

Table 2. 4. 3.

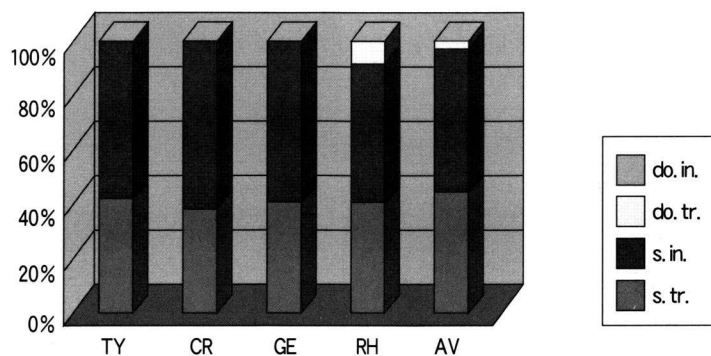
	TY	CR	GE	RH	AV
S-type	32	29	33	28	29
Do-type	0	0	0	3	1
Ratio.do/s	0%	0%	0%	9.7%	3.3%
Ellegård	0%	0%	9.3%	6.4%	35.3%

Table 2. 4. 1. から明らかなように、否定命令文の場合、1) sタイプについては他の否定文（平叙文や疑問文）の場合とは逆に、全版とも自動詞が優勢である。2) doタイプについては、わずかに RH で他動詞の例が3例見られるのみで他の版では発生数そのものが皆無である為、何ともいえない。AV の他動詞の例は次のとおりである。

（do/s タイプの用例数・箇所は巻末の FS に示す。）

- (17) ... doe not sound a trumpet before thee, as hypocrites doe,... (AV 6. 2)

Figure 6.



3. 肯定平叙文におけるdo

Table 3. 1.

	TY	CR	GE	RH	AV
<i>t</i>	3	7	9	10	9
<i>i</i>	8	14	15	14	15

Table 3. 2.

	TY	CR	GE	RH	AV
S-type	*1297	*1297	*1297	*1297	1297
Do-type	11	21	24	24	24
Ratio, do/s	0.9%	1.6%	1.8%	1.8%	1.8%
Ellegård	2.6%	8.1%	9.3%	6.3%	2.9%

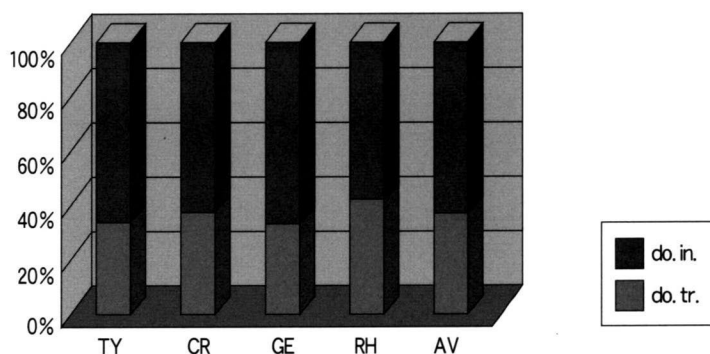
(* S-type の用例数1297は AV における数値で TY-RH ではこれを推定値として使用。)

肯定平叙文の場合は do タイプのみ、自動詞／他動詞の分布状況の観察を試みる。その結果は Table 3. 1. および Figure 7. に見るとおり、全版において、do が自動詞と共起する割合の方が他動詞の場合に比べ圧倒的に多いが、その差は RH、AV においては縮まっていることがわかる。また S タイプとの割合および Ellegård のデータとの比較は Table 3. 2. に見られるとおり、do タイプが初期の TY に比べ CR 以降ややシェアを広げていることは前回も述べたとおりである。⁽¹⁴⁾

(18) ... behold, he is at hand that doeth betray me. (AV 26.46)

(19) And they..., and did run to bring his disciples word. (AV 28.8)

Figure 7.



まとめ

これまでの1. から3. までの分析結果をまとめるならば次のとおりである。

1) 肯定疑問文 (v-question) においては do タイプの用例そのものが少ないが、s タイプ同様、全ての用例において do が他動詞と共起している。その割合は TY から AV に至るまでほとんど変化していない。これは do タイプの頻度が上がっていないことに追従した格好である。Wh-question の場合は、a-question では do が自動詞と共起する例も若干見られたが、やはり v-question の場合と同様、他動詞との共起率の方が高い。O-question に関しては他動詞の例しか見られず、a, o-question の合計値で見た場合、他動詞が自動詞の約2倍という発生率であった。⁽¹⁵⁾

2) 否定文においては、i) 否定疑問文が各種の文の中では最も do の発生率が高く、ここにおいても TY から AV にかけて他動詞が優勢になっていく様子が観察された。否定疑問文で do の発生に関連して気になることは、否定の副詞 'not' (never, nor などを含む) の存在であるが、v-question の場合は、7 例中 4 例が do と 'not' の間に主語がはさまるパターン (Do-S-not-V-X)、3 例が PE において標準的な Do-not-S-V-X であった。ii) 否定平叙文の場合も途中の CR や GE で同率の状況が見られるものの、全体では他動詞の優勢は変わらない。⁽¹⁶⁾ iii) 否定命令文に関しては用例数そのものが少なく正確なところは記しがたいが、RH、AV 両版に見られたのは他動詞の例であった。s タイプに関しては、他の文の場合と異なり、自動詞の方が優勢⁽¹⁷⁾ という状況であった。

3) 肯定文においては上の疑問文、否定文の場合と異なり、TY から AV まで全ての版で他動詞より自動詞の方が多く do と共起するという、逆転現象が見られた。Ellegård も述べているように⁽¹⁸⁾、(X)-do-S-V のような語順転倒が自動詞の優勢につながっているか否かを、今回の自動詞15例、他動詞9例で検証した場合、S-do-V-X というノーマルなパターン例がほとんどで、転倒例 (X-do-S-V) は各2例ずつしか見られなかった。⁽¹⁹⁾ X については副詞、目的語などがあげられるが、用例数が少なくため、自動詞が優勢になる確固たる理由を見つけることは不可能であった。

以上が今回の調査で得られた結果であるが、最後の肯定文の場合に限ってのみ、なぜ他の文の場合と異なり、自動詞の方が他動詞より do と共起する例が多いのか、という問題については、今後さらに用例数を増やして観察する必要があるだろう。幸いなことに GE と AV の間をつなぐ *the Bishop's Bible* ⁽²⁰⁾ など本学図書館に所蔵されている。これらの文献を利用して、do の消長が Bible においてどのような状況か、またそれに絡む他動詞／自動詞の割合などについてもさらに追求していきたい。

注

- (1) 拙論 (1999)
- (2) Ellegård, p.190
- (3) *ibid.*
- (4) *ibid.* p.195
- (5) *ibid.* p.202
- (6) McCrum, pp.34-39
- (7) Nagashima, p.67及び Tearasawa, p.5
- (8) Ellegård, p.190
- (9) 拙論 (1999) Frequency Survey.
- (10) Ellegård, pp.201-205
- (11) *ibid.* p.202
- (12) 拙論 (1999) p.74, Table 1. 1.
- (13) Ellegård, p.161, Table 7.
- (14) 拙論 (1999) p.80
- (15) 本稿 Table 1. 2. 2., Figure 3.
- (16) *ibid.* Table 2. 3. 1.
- (17) *ibid.* Table 2. 4. 1.
- (18) Ellegård, p.190
- (19) Transitive verb: For after all these things doe the Gentiles seeke: (6.32)/... and vpon my venture did they cast lots. (27.35).
Intransitive verb: ... well did Esaias prophesie of you,... (15. 7)/ They did they spit in his face,... (26.67)
- (20) *The Bishop's Bible*: A facsimile of the 1568 edition.

Frequency Survey of do/s in the Five Versions of *the English Hexapla*

t : transitive verb, i : intransitive verb, a : a-question, o : o-question

1. Affirmative questions

1.1. S-type in Affirmative questions

	TY	CR	GE	RH	AV
	21.16(hearest) t 21.23(doeat) t 26.53(thinkeat) t 26.62(answerest) t	21.16(hearest) t 21.23(doeat) t 26.53(thinkeat) t 26.62(answerest) t	20.16(hearest) t 21.23(doeat) t 26.53(thinkeat) t 26.62(answerest) t	11.3(look) t 18.1(thinkeat) t 21.16(hearest) t 21.23(doeat) t 26.53(thinkeat) t 26.62(answerest) t	15.12(knowest) t 21.16(hearest) t 21.23(doeat) t 26.53(thinkeat) t 26.62(answerest) t
t	4	4	4	6	5
i	0	0	0	0	0

1.2. Do-type in Affirmative questions

	7.16(gather) t 17.24(pay) t	7.16(gather) t 11.3(look) i 17.24(pay) t	7.16(gather) t	7.16(gather) t 15.12(know) t 24.2(see) t	7.16(gather) t 11.3(look) i
t	2	2	1	3	1
i	0	1	0	0	1

1.3. S-type in Wh-questions

	5.47(o:do) t 6.28(a: care) i 7. 3(a: seist) t 7. 4(a:sayest) i 8.29(o:have) t 9. 4(a:think) t 9.11(a:eateth) i 11.7(o:went) i 11.8(o:went) i 11.9(o:went) i 13.10(a:speak) i 13.56(o:hath) t 15.34(o:have) t 16.15(o:say) t 17.10(a:say) t 17.25(o:think) t 18.12(a:think) i 19.17(a:callst) i 19.20(o:lack) t 20. 6(a:stand) i 21.28(o:say) t 22.11(a:camest) i 22.17(a:think) i 22.18(a:tempt) t 22.41(o:think) t 25.37(a:saw) t 25.38(a:saw) t 25.39(a:saw) t 25.44(a:saw) t 26.66(o:think) t	5.46(o:have) t 5.47(o:do) i 6.28(a:care) i 7. 3(a:seest) t 7. 4(a:sayest) i 8.29(o:have) t 9. 4(a:think) t 9.11(a:eateth) i 11.7(o:went) i 11.8(o:went) i 11.9(o:went) i 13.10(a:speak) i 13.56(o:hath) t 15.34(o:have) t 16.15(o:say) t 17.10(a:say) t 17.25(o:think) t 18.12(a:think) i 19.17(a:callst) t 19.20(o:lack) t 20. 6(a:stand) i 21.28(o:think) t 22.11(a:camest) i 22.17(a:think) i 22.18(a:tempt) t 22.41(o:think) t 25.37(a:saw) t 25.38(a:saw) t 25.39(a:saw) t 25.44(a:saw) t 25.39(a:saw) t 25.44(a:saw) t 26.66(o:think) t	5.47(o:do) t 6.28(a:care) i 7. 3(a:seest) t 7. 4(a:sayest) i 8.29(o:have) t 9. 4(a:think) t 9.11(a:eateth) i 11.7(o:went) i 11.8(o:went) i 11.9(o:went) i 13.10(a:speak) i 13.56(o:hath) t 15.34(o:have) t 16.15(o:say) t 17.10(a:say) t 17.25(o:think) t 18.12(a:think) i 19.17(a:callst) t 19.20(o:lack) t 20. 6(a:stand) i 21.28(o:think) t 22.11(a:camest) i 22.17(a:think) i 22.18(a:tempt) t 22.41(o:think) t 25.37(a:saw) t 25.38(a:saw) t 25.39(a:saw) t 25.44(a:saw) t 26.66(o:think) t	5.47(o:do) t 7. 3(a:seest) t 7. 4(a:sayst) i 9. 4(a:think) t 11.7(o:went) i 11.8(o:went) i 11.9(o:went) i 13.10(a:speak) i 13.56(o:hath) t 15.34(o:have) t 16.13(o:say) t 17.10(a:say) t 17.25(o:receive) t 18.12(a:think) i 19.17(a:callst) t 20. 6(a:stand) i 22.11(a:camest) i 26.62(a:think) t	6.28(a:take) t 7. 3(a:beholdest) t 8.29(o:have) t 9. 4(a:think) t 9.11(a:eateth) i 11. 7(o:went) i 11. 8(o:went) i 11. 9(o:went) i 13.10(a:speak) i 13.56(o:hath) t 15.34(o:have) t 16. 8(a:reason) i 16.15(o:say) t 17.10(a:say) t 17.25(o:think) t 18.12(a:think) i 19.17(a:callst) i 19.20(o:lack) t 20. 6(a:stand) i 21.28(o:think) t 22.11(a:camest) i 22.17(o:think) t 22.18(a:tempt) t 22.41(o:think) t 25.37(a:saw) t 25.38(a:saw) t 25.39(a:saw) t 25.44(a:saw) t 26.66(o:think) t
a	t 9 i 8	10 8	9 8	5 5	10 6
o	t 10 i 8	11 3	10 3	5 3	9 3
T	t 19 i 11	21 11	19 11	10 8	19 9

1.4. Do-type in Wh-questions

	9.14(a.fast) <i>i</i>	9.14(a.fast) <i>i</i>	9.14(a.fast) <i>i</i>	9.11(a. eat) <i>i</i>	9.14(a.fast) <i>i</i>
	12.27(o.cast) <i>t</i>	12.27(o.cast) <i>t</i>	12.27(o.cast) <i>t</i>	9.14(a.fast) <i>i</i>	12.27(o.cast) <i>t</i>
	14.31(a.doubt) <i>i</i>	14.31(a.doubt) <i>i</i>	14.31(a.doubt) <i>i</i>	9.14b(a.fast) <i>i</i>	14.31(a.doubt) <i>i</i>
	15.2(a.transgress) <i>t</i>	15.2(a.transgress) <i>t</i>	15.2(a.transgress) <i>t</i>	12.27(o.cast) <i>i</i>	15.2(a.transgress) <i>t</i>
	15.3(a.transgress) <i>t</i>	15.3(a.transgress) <i>t</i>	15.3(a.transgress) <i>t</i>	14.31(a.doubt) <i>i</i>	15.3(a.transgress) <i>t</i>
	16.13(o.say) <i>t</i>	16.13(o.say) <i>t</i>	16.13(o.say) <i>t</i>	15.2(a.transgress) <i>t</i>	16.13(o.say) <i>t</i>
	17.25(o.take) <i>t</i>	17.25(o.take) <i>t</i>	17.25(o.take) <i>t</i>	15.3(a.transgress) <i>t</i>	17.25(o.take) <i>t</i>
	19.7(a.command) <i>t</i>	19.7(a.command) <i>t</i>	19.7(a.command) <i>t</i>	16.8(think) <i>i</i>	19.7(a.command) <i>t</i>
	22.43(a.call) <i>t</i>	22.43(a.call) <i>t</i>	22.43(a.call) <i>t</i>	16.15(o.say) <i>t</i>	22.43(a.call) <i>t</i>
				19.7(a.command) <i>t</i>	
				22.18(o.tempt) <i>t</i>	
				22.43(a.call) <i>t</i>	
				25.37(a.see) <i>t</i>	
				25.38(a.see) <i>t</i>	
				25.39(a.see) <i>t</i>	
				25.44(a.see) <i>t</i>	
				26.10(a.molest) <i>t</i>	
<i>a</i>	<i>t</i>	4	4	4	9
	<i>i</i>	2	2	2	5
<i>o</i>	<i>t</i>	3	3	3	2
	<i>i</i>	0	0	0	1

2. Negative Sentence

2.1. S-type in Negative questions

	5.46(do) <i>i</i>	5.46(do) <i>i</i>	5.46(do) <i>i</i>	5.46(do) <i>i</i>	5.46(do) <i>i</i>
	5.47(do) <i>i</i>	5.47(do) <i>i</i>	5.47(do) <i>i</i>	5.47(do) <i>i</i>	5.47(do) <i>i</i>
	9.14(a.fast) <i>i</i>	9.14(a.fast) <i>i</i>	9.14(a.fast) <i>i</i>		9.14(a.fast) <i>i</i>
	16.11(a.perciev) <i>t</i>	27.13(hearest) <i>t</i>	15.12(perceive) <i>t</i>		27.13(hearest) <i>t</i>
	27.13(hearest) <i>t</i>		15.17(perceive) <i>t</i>		
			16.11(perceive) <i>t</i>		
			21.4(read) <i>t</i>		
			27.13(hearest) <i>t</i>		
<i>t</i>	2	1	5	0	1
<i>i</i>	3	3	3	2	3

2.2. Do-type in Negative questions

	16.9(perceive) <i>t</i>	16.9(perceive) <i>t</i>	16.9(perceive) <i>t</i>	16. 9(vnderstand) <i>t</i>	16. 9(vnderstand) <i>t</i>
	18.12(leave) <i>t</i>	18.12(leave) <i>t</i>	17.24(pay) <i>t</i>	16. 9(remember) <i>t</i>	17.24(pay) <i>t</i>
	20.13(agree) <i>i</i>	20.13(agree) <i>i</i>	20.13(agree) <i>i</i>	17.24(pay) <i>t</i>	18.12(leave) <i>t</i>
	21.42(read) <i>i</i>	21.42(read) <i>t</i>	18.12(leave) <i>t</i>	18.12(leave) <i>t</i>	20.13(agree) <i>i</i>
				20.13(couenant) <i>t</i>	21.42(read) <i>t</i>
<i>t</i>	2	3	3	5	4
<i>i</i>	2	1	1	0	1

2. 3. 1.S-type in Wh-Negative questions

	7.3(perceavest) <i>t</i>	7.3(considerest) <i>t</i>	7.3(perceauet) <i>t</i>	7.3(seest) <i>t</i>	7.3(considerest) <i>t</i>
<i>t</i>	1	1	1	1	1
<i>i</i>	0	0	0	0	0

2. 3. 2. Do-type in Wh-Negative questions

	21.25(believe) <i>t</i>	21.25(believe) <i>t</i>	21.25(believe) <i>t</i>	21.25(believe) <i>t</i>	21.25(believe) <i>t</i>
	25.44(minister) <i>i</i>	25.44(minister) <i>i</i>	25.44(minister) <i>i</i>	25.44(minister) <i>i</i>	25.44(minister) <i>i</i>
<i>t</i>	1	1	1	1	1
<i>i</i>	1	1	1	1	1

2. 3. 3. S type in Neg Q. + Wh-Neg-Q

<i>t</i>	3	2	6	1	2
<i>i</i>	3	3	3	2	3

2. 3. 4. Do type in Neg Q. + Wh-Neg-Q

<i>t</i>	3	4	4	6	5
<i>i</i>	3	2	2	1	2

2.5. S-type in Negative Declaratives

1.25(know)	<i>t</i>	1.25(know)	<i>t</i>	3.10(bring)	<i>t</i>	1.25(know)	<i>t</i>	1.25(know)	<i>t</i>
3.10(bring)	<i>t</i>	3.10(bring)	<i>t</i>	5.42(turn)	<i>i</i>	5.42(turn)	<i>i</i>	3.10(bring)	<i>t</i>
5.42(turn)	<i>i</i>	5.42(turn)	<i>i</i>	6.1(give)	<i>t</i>	6.1(do)	<i>t</i>	5.42(turn)	<i>i</i>
6.1(give)	<i>t</i>	6.1(give)	<i>t</i>	6.18(seem)	<i>i</i>	6.18(appear)	<i>i</i>	6.1(do)	<i>t</i>
6.18(appear)	<i>i</i>	6.18(appear)	<i>i</i>	6.26(sow)	<i>i</i>	6.26(sow)	<i>i</i>	6.15(forgive)	<i>t</i>
6.26(sow)	<i>i</i>	6.26(sow)	<i>i</i>	6.26(reap)	<i>i</i>	6.26(reap)	<i>i</i>	6.18(appear)	<i>i</i>
6.26(reap)	<i>i</i>	6.28(labour)	<i>i</i>	6.28(labour)	<i>i</i>	6.28(labour)	<i>i</i>	6.26(sow)	<i>i</i>
6.28(labour)	<i>i</i>	7.19(bring)	<i>t</i>	7.24(fall)	<i>t</i>	7.19(yield)	<i>t</i>	6.28(toile)	<i>i</i>
7.19(bring)	<i>t</i>	7.24(fall)	<i>i</i>	7.26(doth)	<i>t</i>	7.24(fall)	<i>i</i>	7.19(bring)	<i>t</i>
7.24(fall)	<i>i</i>	7.26(doth)	<i>t</i>	8.20(hath)	<i>t</i>	7.26(doth)	<i>t</i>	7.24(fall)	<i>i</i>
7.26(doth)	<i>t</i>	8.20(hath)	<i>t</i>	9.12(need)	<i>t</i>	8.20(hath)	<i>t</i>	7.26(doth)	<i>i</i>
8.20(hath)	<i>t</i>	9.12(need)	<i>t</i>	10.34(came)	<i>i</i>	9.12(need)	<i>t</i>	8.20(hath)	<i>t</i>
9.12(need)	<i>t</i>	10.34(came)	<i>i</i>	10.38(taketh)	<i>t</i>	10.34(came)	<i>t</i>	9.12(need)	<i>t</i>
10.34(came)	<i>i</i>	10.38(taketh)	<i>t</i>	11.20(repent)	<i>i</i>	10.38(taketh)	<i>t</i>	10.34(came)	<i>i</i>
10.38(taketh)	<i>t</i>	11.20(repent)	<i>i</i>	12.30(gather)	<i>i</i>	12.24(casteth)	<i>i</i>	10.38(taketh)	<i>t</i>
11.20(mend)	<i>i</i>	12.30(gather)	<i>i</i>	13.5(had)	<i>t</i>	12.30(gather)	<i>i</i>	11.20(repent)	<i>i</i>
12.30(gather)	<i>i</i>	13.5(had)	<i>t</i>	13.12(hath)	<i>t</i>	13.5(had)	<i>t</i>	12.30(gather)	<i>i</i>
13.5(had)	<i>t</i>	13.12(hath)	<i>t</i>	13.13b(hear)	<i>i</i>	13.5b(had)	<i>t</i>	13.5(had)	<i>t</i>
13.12(hath)	<i>t</i>	13.13(see)	<i>i</i>	13.19(understand)	<i>i</i>	13.12(hath)	<i>t</i>	13.12(hath)	<i>t</i>
13.13(see)	<i>i</i>	13.13b(hear)	<i>i</i>	13.58(did)	<i>t</i>	13.13(see)	<i>i</i>	13.13(see)	<i>i</i>
13.13b(hear)	<i>i</i>	13.18(understand)	<i>i</i>	15.20(defileth)	<i>i</i>	13.13b(hear)	<i>i</i>	13.13b(hear)	<i>i</i>
13.19(understand)	<i>i</i>	13.58(did)	<i>t</i>	16.11(spake)	<i>t</i>	13.19(understand)	<i>i</i>	13.19(understand)	<i>i</i>
13.58(did)	<i>t</i>	15.20(defileth)	<i>i</i>	16.12(bad)	<i>t</i>	13.21(hath)	<i>t</i>	13.21(hath)	<i>t</i>
15.20(defileth)	<i>i</i>	16.11(spake)	<i>i</i>	16.23(savour)	<i>t</i>	13.58(wrought)	<i>t</i>	13.34(spake)	<i>i</i>
16.11(spake)	<i>i</i>	16.12(bad)	<i>t</i>	17.12(knew)	<i>t</i>	15.32(have)	<i>t</i>	13.58(did)	<i>t</i>
16.12(bad)	<i>t</i>	16.23(savour)	<i>t</i>	17.21(goth)	<i>i</i>	16.12(said)	<i>t</i>	16.11(spake)	<i>t</i>
16.23(savour)	<i>t</i>	17.12(knew)	<i>t</i>	18.22(say)	<i>t</i>	16.23(savour)	<i>t</i>	16.12(bad)	<i>t</i>
17.12(knew)	<i>t</i>	17.21(goth)	<i>i</i>	19.14(forbid)	<i>t</i>	17.21(goth)	<i>i</i>	16.23(savour)	<i>t</i>
17.21(goth)	<i>i</i>	18.22(say)	<i>i</i>	20.22(wot)	<i>t</i>	18.22(say)	<i>t</i>	17.12(knew)	<i>t</i>
18.22(say)	<i>i</i>	18.35(forgive)	<i>t</i>	21.30(went)	<i>i</i>	18.35(forgive)	<i>t</i>	17.21(goth)	<i>i</i>
19.14(forbid)	<i>t</i>	19.14(forbid)	<i>t</i>	21.32(believe)	<i>t</i>	19.14(forbid)	<i>t</i>	18.22(say)	<i>i</i>
20.22(wot)	<i>t</i>	20.22(wot)	<i>t</i>	22.11(had)	<i>t</i>	20.22(wot)	<i>t</i>	18.25(had)	<i>t</i>
21.30(went)	<i>i</i>	21.21(doubt)	<i>t</i>	22.11b(hast)	<i>t</i>	21.21(stagger)	<i>t</i>	18.35(forgive)	<i>t</i>
21.32(believe)	<i>t</i>	21.30(went)	<i>i</i>	22.16(consider)	<i>t</i>	21.30(went)	<i>i</i>	19.14(forbid)	<i>t</i>
22.11(had)	<i>t</i>	21.32(believe)	<i>t</i>	23.3(do)	<i>t</i>	22.11(had)	<i>t</i>	20.22(know)	<i>t</i>
22.11b(hast)	<i>t</i>	22.11(had)	<i>t</i>	23.13(go)	<i>i</i>	23.3(do)	<i>t</i>	21.21(doubt)	<i>t</i>
22.16(consider)	<i>t</i>	22.16(regardest)	<i>t</i>	23.13b(suffre)	<i>t</i>	23.13b(suffer)	<i>i</i>	21.30(went)	<i>i</i>
23.3(do)	<i>t</i>	23.3(do)	<i>t</i>	24.42(know)	<i>t</i>	24.39(knew)	<i>t</i>	21.32(believe)	<i>t</i>
23.13(go)	<i>i</i>	23.13(go)	<i>i</i>	24.44(know)	<i>t</i>	24.42(know)	<i>t</i>	21.32b(repent)	<i>i</i>
23.13b(suffre)	<i>t</i>	23.13b(suffre)	<i>t</i>	24.50(look)	<i>i</i>	24.44(know)	<i>t</i>	22.11(had)	<i>t</i>
24.42(know)	<i>t</i>	24.39(knew)	<i>t</i>	25.12(know)	<i>t</i>	24.50(hopeth)	<i>i</i>	22.16(regardest)	<i>t</i>
24.44(know)	<i>t</i>	24.42(know)	<i>t</i>	25.24(sowdest)	<i>i</i>	24.50b(knowth)	<i>i</i>	23.3(do)	<i>t</i>
24.50(look)	<i>i</i>	24.44(know)	<i>t</i>	25.24(strawed)	<i>i</i>	25.12(know)	<i>t</i>	23.13(go)	<i>i</i>
25.12(know)	<i>t</i>	24.50(look)	<i>i</i>	25.26(sowed)	<i>i</i>	25.24(strawed)	<i>i</i>	23.13b(suffer)	<i>i</i>
25.24(sowdest)	<i>i</i>	25.12(know)	<i>t</i>	25.29(hath)	<i>t</i>	25.26(sowed)	<i>i</i>	24.39(knew)	<i>t</i>
25.24(strawed)	<i>i</i>	25.26(sowed)	<i>i</i>	25.43(lodged)	<i>i</i>	25.29(hath)	<i>t</i>	24.42(know)	<i>t</i>
25.26(sowed)	<i>i</i>	25.29(hath)	<i>t</i>	25.43b(clothed)	<i>t</i>	25.42b(gave)	<i>t</i>	24.44(know)	<i>t</i>
25.29(hath)	<i>i</i>	25.43(took)	<i>t</i>	25.43c(visited)	<i>t</i>	25.43(took)	<i>t</i>	24.50(look)	<i>i</i>
25.43(lodged)	<i>t</i>	25.43b(clothed)	<i>t</i>	25.45(did)	<i>t</i>	25.43b(covered)	<i>t</i>	25.12(know)	<i>t</i>
25.43b(clothed)	<i>t</i>	25.43c(visited)	<i>t</i>	26.70(wot)	<i>t</i>	25.45(did)	<i>t</i>	25.26(sowed)	<i>i</i>
25.43c(visited)	<i>t</i>	25.45(did)	<i>t</i>	26.72(know)	<i>t</i>	26.11(have)	<i>t</i>	25.29(hath)	<i>t</i>
25.45(did)	<i>t</i>	26.70(wot)	<i>t</i>	26.74(know)	<i>t</i>	26.60(found)	<i>t</i>	25.43(took)	<i>t</i>
26.70(wot)	<i>t</i>	26.74(knew)	<i>t</i>			26.70(wot)	<i>t</i>	25.43b(clothed)	<i>t</i>
26.72(know)	<i>t</i>					26.72(know)	<i>t</i>	25.43c(visited)	<i>t</i>
26.74(knew)	<i>t</i>					26.74(knew)	<i>t</i>	25.45(did)	<i>t</i>
						29.22(know)	<i>t</i>	26.11(have)	<i>t</i>
								26.70(know)	<i>t</i>
<i>t</i>	33	34	32	37	39				
<i>i</i>	22	20	21	19	20				

2.6. Do-type in Negative Declaratives

	5.15(light) <i>t</i> 9.17(put) <i>t</i>	5.15(light) <i>t</i> 6.20(corrupt) <i>i</i> 6.20(break) <i>i</i> 6.26(reap) <i>i</i> 9.17(put) <i>t</i> 13.13c(understand) <i>i</i> 26.72(know) <i>i</i>	5.15(light) <i>t</i> 6.15(forgive) <i>t</i> 9.17(put) <i>t</i> 13.13(see) <i>i</i>	3.10(yield) <i>t</i> 5.16(light) <i>t</i> 6.20(corrupt) <i>i</i> 6.20(digge) <i>i</i> 9.17(put) <i>t</i> 13.13c(understand) <i>i</i> 13.34(speak) <i>i</i> 15.20(defile) <i>t</i> 17.12(know) <i>t</i> 21.32(believe) <i>t</i> 22.16(respect) <i>t</i> 23.13(enter) <i>i</i> 25.24(sow) <i>i</i> 25.43c(visit) <i>t</i>	5.15(light) <i>t</i> 6.20(corrupt) <i>i</i> 6.20(break) <i>i</i> 6.26(reap) <i>i</i> 9.17(put) <i>t</i> 12.24(cast) <i>t</i> 13.13c(understand) <i>i</i> 26.72(know) <i>t</i>
<i>t</i>	2	2	2	8	4
<i>i</i>	0	5	2	5	4

2.7. S-type in Negative Imperatives

	1.20(fear) <i>t</i> 3.9(think) <i>t</i> 5.17(think) <i>t</i> 5.34(swear) <i>i</i> 6.2(let) <i>t</i> 6.7(bable) <i>i</i> 6.8(be) <i>i</i> 6.13(lead) <i>i</i> 6.16(be) <i>i</i> 6.19(gather) <i>t</i> 7.1(judge) <i>i</i> 7.6(give) <i>t</i> 10.5(go) <i>i</i> 10.5b(enter) <i>i</i> 10.26(fear) <i>t</i> 10.28(fear) <i>t</i> 10.31(fear) <i>i</i> 10.34(think) <i>t</i> 14.27(be) <i>i</i> 17.7(be) <i>i</i> 19.6(let) <i>t</i> 19.18(kill) <i>i</i> 19.18(break) <i>i</i> 19.18(steal) <i>i</i> 19.18(bear) <i>i</i> 23.3(do) <i>i</i> 24.17(let) <i>t</i> 24.23(believe) <i>t</i> 24.26(go) <i>i</i> 24.26(believe) <i>t</i> 28.5(fear) <i>i</i> 28.8(be) <i>i</i>	1.20(fear) <i>t</i> 3.9(be) <i>i</i> 5.17(think) <i>t</i> 5.34(swear) <i>i</i> 6.2(let) <i>t</i> 6.7(bable) <i>i</i> 6.8(be) <i>i</i> 6.13(lead) <i>i</i> 6.16(be) <i>i</i> 6.19(lay) <i>i</i> 7.1(judge) <i>i</i> 7.6(give) <i>t</i> 10.5(go) <i>i</i> 10.5(enter) <i>i</i> 10.26(fear) <i>t</i> 10.28(fear) <i>t</i> 10.31(fear) <i>i</i> 10.34(think) <i>t</i> 14.27(be) <i>i</i> 17.7(be) <i>i</i> 19.6(let) <i>t</i> 19.18(kill) <i>i</i> 19.18(break) <i>i</i> 19.18(steal) <i>i</i> 19.18(bear) <i>i</i> 23.3(do) <i>i</i> 24.17(let) <i>t</i> 24.23(believe) <i>t</i> 24.26(go) <i>i</i> 24.26b(believe) <i>t</i> 28.5(fear) <i>i</i> 28.8(be) <i>i</i>	1.20(fear) <i>t</i> 3.9(presume) <i>t</i> 5.17(think) <i>t</i> 5.34(swear) <i>i</i> 6.2(let) <i>t</i> 6.7(bable) <i>i</i> 6.8(be) <i>i</i> 6.13(lead) <i>i</i> 6.16(loke) <i>i</i> 6.19(gather) <i>t</i> 7.1(judge) <i>i</i> 7.6(give) <i>t</i> 10.5(go) <i>i</i> 10.5(enter) <i>i</i> 10.26(fear) <i>t</i> 10.28(fear) <i>t</i> 10.31(fear) <i>i</i> 10.34(think) <i>t</i> 14.27(be) <i>i</i> 17.7(be) <i>i</i> 19.6(let) <i>t</i> 19.18(kill) <i>i</i> 19.18(break) <i>i</i> 19.18(steal) <i>i</i> 19.18(bear) <i>i</i> 23.3(do) <i>i</i> 23.8(be) <i>i</i> 24.17(let) <i>t</i> 24.23(bear) <i>i</i> 24.26(bear) <i>i</i> 24.26(believe) <i>t</i> 24.26(go) <i>i</i> 24.26(believe) <i>t</i> 24.26(believe) <i>t</i> 28.5(fear) <i>i</i> 28.8(be) <i>i</i>	1.20(fear) <i>t</i> 3.9(delight) <i>i</i> 6.2(sound) <i>t</i> 6.3(let) <i>i</i> 6.7(speak) <i>i</i> 6.8(be) <i>i</i> 6.13(lead) <i>i</i> 6.16(be) <i>i</i> 6.19(heap) <i>i</i> 7.1(judge) <i>i</i> 7.6(give) <i>t</i> 10.5(go) <i>i</i> 10.5(enter) <i>i</i> 10.26(fear) <i>t</i> 10.28(fear) <i>t</i> 10.31(fear) <i>i</i> 14.27(fear) <i>i</i> 17.7(be) <i>i</i> 19.6(let) <i>t</i> 23.3(do) <i>i</i> 23.8(be) <i>i</i> 24.17(let) <i>t</i> 24.18(let) <i>t</i> 24.23(believe) <i>t</i> 24.26(go) <i>i</i> 24.26(believe) <i>t</i> 28.5(fear) <i>i</i> 28.10(fear) <i>i</i>	1.20(fear) <i>t</i> 3.9(think) <i>t</i> 5.17(think) <i>t</i> 5.34(swear) <i>i</i> 6.3(let) <i>t</i> 6.7(use) <i>i</i> 6.8(be) <i>i</i> 6.13(lead) <i>i</i> 6.16(be) <i>i</i> 6.19(lay) <i>i</i> 7.1(judge) <i>i</i> 7.6(give) <i>t</i> 10.5(go) <i>i</i> 10.5(enter) <i>i</i> 10.26(fear) <i>t</i> 10.28(fear) <i>t</i> 10.31(fear) <i>i</i> 10.34(think) <i>t</i> 14.27(be) <i>i</i> 17.7(be) <i>i</i> 19.6(let) <i>t</i> 23.3(do) <i>i</i> 23.8(be) <i>i</i> 24.17(let) <i>t</i> 24.23(believe) <i>t</i> 24.26(go) <i>i</i> 24.26(believe) <i>t</i> 24.26(believe) <i>t</i> 28.5(fear) <i>i</i> 28.9(be) <i>i</i>
<i>t</i>	13	11	13	11	13
<i>i</i>	19	18	20	17	16

2.8. Do-type in Negative Imperatives

				5.18(think) <i>t</i> 10.34(think) <i>t</i> 24.23(believe) <i>t</i>	6.2(sound) <i>t</i>
<i>t</i>	0	0	0	3	1
<i>i</i>	0	0	0	0	0

3. Do-type in Affirmative Declaratives

2.22(reign)	<i>i</i>	2.22(reign)	<i>i</i>	2.22(reign)	<i>i</i>	6.19(corrupt)	<i>i</i>	2.22(reign)	<i>i</i>
14.20(eat)	<i>i</i>	6.19(corrupt)	<i>i</i>	14.20(eat)	<i>i</i>	6.32(seek)	<i>t</i>	5.6(hunger)	<i>i</i>
15.37(eat)	<i>i</i>	6.20(corrupt)	<i>i</i>	14.21(eat)	<i>i</i>	12.4(eat)	<i>t</i>	6.19(corrupt)	<i>i</i>
16.1(tempt)	<i>t</i>	6.32(seek)	<i>t</i>	15. 9(serue)	<i>t</i>	13.44(hide)	<i>t</i>	6.32(seek)	<i>t</i>
17.2(shine)	<i>i</i>	12.4(eat)	<i>t</i>	15.37(eat)	<i>i</i>	14.20(eat)	<i>i</i>	12.4(eat)	<i>t</i>
19.9(commit)	<i>t</i>	14.20(eat)	<i>i</i>	15.38(eat)	<i>i</i>	14.21(eat)	<i>i</i>	14.2(show)	<i>t</i>
24.38(eat)	<i>i</i>	14.21(eat)	<i>i</i>	16.1(tempt)	<i>t</i>	14.34(touch)	<i>t</i>	14.20(eat)	<i>i</i>
26.21(eat)	<i>i</i>	15.7(prophecy)	<i>i</i>	17.2(shine)	<i>i</i>	15. 9(worship)	<i>t</i>	15.7(prophecy)	<i>i</i>
27.35(cast)	<i>t</i>	15.9(worship)	<i>t</i>	19.9(commit)	<i>t</i>	15.37(eat)	<i>i</i>	15.9(worship)	<i>t</i>
27.51(quake)	<i>i</i>	15.37(eat)	<i>i</i>	24.38(eat)	<i>i</i>	15.38(eat)	<i>i</i>	15.37(eat)	<i>i</i>
28.8(run)	<i>i</i>	15.38(eat)	<i>i</i>	26.21(eat)	<i>i</i>	16.3(grow)	<i>i</i>	15.38(eat)	<i>i</i>
		18.10(behold)	<i>t</i>	27.35(cast)	<i>t</i>	17.2(shine)	<i>i</i>	17.2(shine)	<i>i</i>
		19.9(commit)	<i>t</i>	27.51(quake)	<i>i</i>	18.10(behold)	<i>t</i>	18.10(behold)	<i>t</i>
		22.29(err)	<i>i</i>	28.8(run)	<i>t</i>	21.32(believe)	<i>t</i>	19.9(commit)	<i>t</i>
		24.38(eat)	<i>i</i>			22.29(err)	<i>i</i>	22.29(err)	<i>i</i>
		26.21(eat)	<i>i</i>			26.21(eat)	<i>i</i>	24.42 (come)	<i>i</i>
		26.46(betray)	<i>t</i>			26.62(testify)	<i>i</i>	26.21(eat)	<i>i</i>
		26.67(spit)	<i>i</i>			26.67(spit)	<i>i</i>	26.46(betray)	<i>t</i>
		27.35(cast)	<i>t</i>			26.73(betray)	<i>t</i>	26.67(spit)	<i>i</i>
		27.51(quake)	<i>i</i>			27. 9(prise)	<i>t</i>	27. 9(value)	<i>t</i>
		28.8(run)	<i>i</i>			27.14(marvel)	<i>i</i>	27.35(cast)	<i>t</i>
						27.35(cast)	<i>t</i>	27.51(quake)	<i>i</i>
						27.51(quake)	<i>i</i>	28.4(shake)	<i>i</i>
								28.8(run)	<i>i</i>
<i>t</i>	3	7		4		10		9	
<i>i</i>	8	14		10		14		15	

参考文献

- Araki, K. and Ukaji, M. 1984, *Eigo-shi, III A. Eigogaku-taiki*, vol.10 Taishukan, Tokyo.
- Ellegård, A. 1953. *The Auxiliary Do: the Establishment and Regulation of its Use in English*.
Gothenburg Studies in English 2, Stckholm: Almqvist & Wiksell.
- McCrum, R./ Cran, W./ MacNeil, R. 1988, *The Story of English*. Macmillan, Tokyo.
- Nagashima, D. 1988, *Eiyaku-Seisho no Rekishi*. Tokyo: Kenkyusha
- Terasawa, Y. 1985, Fukkoku-ban, 'Kintei-yaku-Seisho' - Bunkengaku-teki・Shoshi-gaku-teki
Kaisetsu. Tokyo: Kenkyusha.
- The Holy Bible: a Reprint of the Edition of 1611*, Oxford/Kenkyusha.(1985)
- The Bishop's Bible, a facsimile of the 1568 edition*. Elpis, Tokyo. (1998)
- The English Hexapla*, AMS Press, New York. (1975)
- The Holy Bible*. 1961, The Gideons International.
- Seisho* (Bible). 1979, Nihon-Sisho-Kyokai, Tokyo.
- Furusho, M. 1999, *A Historical Study of Periphrastic do in the English Hexapla*,
Bulletin of Gakushuin Women's College. No. 1

(ふるしょう まこと 本学助教授)